



地方独立行政法人
山梨県立病院機構
YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION



病院見学



初期研修



専門研修



YouTube

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号
TEL:055-253-7111(代) FAX:055-253-8011

研修医・専攻医募集案内

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/>

Beat

医療の鼓動を培う

2027

研修医・専攻医募集案内



地方独立行政法人
山梨県立病院機構
YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

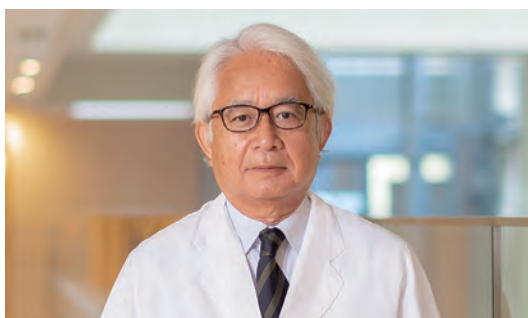
150周年



開院当初の山梨県立中央病院

令和8年5月、明治9年の開院から150周年を迎えました。山梨県の基幹病院として地域医療を支えてきた当院で、多くの経験を積みながら、地域医療の未来を担う医療人として大きく成長しませんか。

From Board Chairman 重層屋根瓦指導で飛躍への Platform



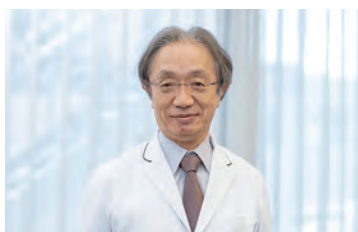
この病院を17年間中から見てきました。客観的に見るのが難しくなりつつありますが、自身の教育体験、米国二大学(Yale, USC) 6年、日本二大学(千葉大16年、東大17年) 33年から鑑みても、『全方位 / 中核病院でのスタートは、将来のインシエトとなる』ことを保証します。

全医師数255は卒後研修として指導を行う、One “Unified” Teamには最適な数字と考えます。さらに、臨床研究、国際誌投稿、国内外留学など、将来のキャリア形成に対応できるよう柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修2～5年をサポートいたします。

山梨県立病院機構理事長 東京大学名誉教授

小俣 政男

From Chief of Medical Clinic



山梨県立中央病院 院長

小嶋 裕一郎



山梨県立北病院 院長
精神科専門研修プログラム統括責任者

宮田 量治

次代の医療を担う皆さんへ。

当院は、ドクターヘリを備えた県内唯一の三次救急病院であり、高度救命救急センターや総合周産期母子医療センターを併設しています。同時に、全国で32施設のみの「がんゲノム医療拠点病院」でもあり、プライマリ・ケアの基盤となる common disease から、最先端の専門的アプローチが求められる重症例まで、多彩なフィールドで確かな実力を培うことができます。

私たちの大きな強みは、若き医師たちの活気です。255名の在籍医師のうち、専攻医57名、研修医52名が集い、同世代が互いに高め合う素晴らしい環境が整っています。日常診療での経験に加え、質の高い抄読会であるMSGR (Medical Surgical Ground Rounds)や症例・臨床研究の発表会を通じた知識の共有、さらには希望のある専攻医が週1回ゲノム解析センターでの最先端研究に携われる体制など、知的好奇心を満たす学びの機会は尽きません。

また、日々の活力を養う防音性抜群の宿舎である「レジデントクォーター」の整備や、さらなる飛躍を目指す海外留学制度など、ワークライフバランスと長期的なキャリア形成を見据えた手厚いバックアップをお約束します。

皆さんと共に、当院でこれからの医療を創り上げていける日を楽しみにしております。

専攻医プログラムの3年間は精神科医としての一生を決定づけると言ってもよい重要な期間です。北病院では、乳幼児・10歳未満の児童を除くすべての年代／精神疾患に対応しています。また、初診の3割は20歳未満の思春期例です。救急急性期症例、指定医症例・専門医症例を無理なく経験でき、アルコール依存症や司法精神医学なども身近なものとして体験できます。精神科医として第一歩を踏み出そうとしている皆さんには最適な病院と自負しています。

よい医師は、患者さんが育てるものとも言われます。たくさんの方の経験を通して、試行錯誤する過程も体験しながら、力をつけていきます。そのためには、最先端の情報を集めたりまとめたりすることも必要となりますが、指導医中心に学びを深めます。研修中は大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの一生の宝となるようにスタッフ一同頑張りますので、ぜひ一緒に新しい精神科臨床を切り開きましょう。

ONE Package

“世界に羽ばたく人材”

を独自のプログラムで育成します。

臨床研究、国際誌投稿、国内外留学等、個人の願望、将来のキャリア形成に応じる柔軟なプログラムにより、

“One Package”としての卒直後研修5年間をサポートいたします。

初期、後期の一貫研修を通してこの期間に当院でどれだけの臨床能力でアドバンテージがとれるか。

common disease から希少な症例まで経験でき、今後の医師生活において重要な基盤を築けることができるプログラムで、

卒後5、6年の間に臨床医として同世代の医師達を大きく凌駕する力をそれぞれの分野で身につけ、活躍しましょう。

プログラムの特徴 初期・後期研修共通

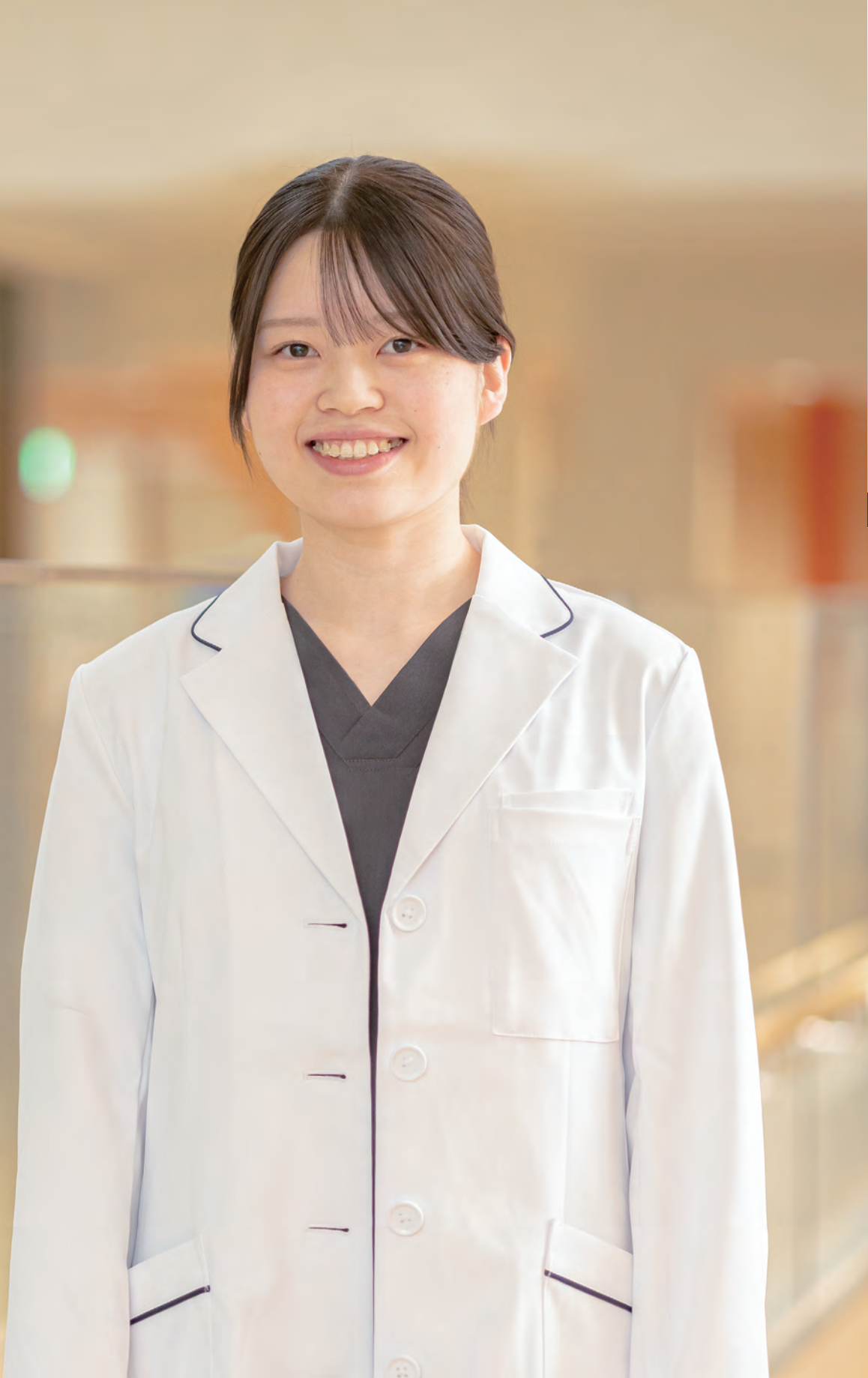
- ◆ 主役は研修医・専攻医
- ◆ 指導医との顔の見える関係
- ◆ 重層屋根瓦方式の指導
- ◆ 充実した高度医療の実践
- ◆ common disease
- ◆ 恵まれた研修環境
- ◆ 初期～三次救急医療の充実

255名の医師のうち、
約110名が若手医師“**One Team**”でサポートします。

高度救命救急センター
重篤な救急患者を24時間体制で受入

総合周産期母子医療センター
幅広い周産期医療を提供

がんゲノム医療拠点病院
がん診療と遺伝診療体制を整備



医師としての基礎を身につけるために――。

研修医基本理念

すべての研修医が確かな知識と医療技術を礎に成長を続け、患者に信頼され安心を与え、自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

基本方針

- 1 基本的な手技・知識・問題解決能力を身につける
- 2 Professional な医師を目指す
- 3 コミュニケーション能力を身につける
- 4 山梨の医療を考える
- 5 学術的探求と臨床研究能力を習得する

From Program Manage

当院は、救急医療および各分野での最先端医療を提供する地域中核病院であるとともに、それを支える教育、学術研究に力を入れた人材教育を行っています。医師にとって大切な初期研修期間を豊富な症例を経験できる当院で過ごし、専門医研修につながる礎を築きましょう。

初期臨床研修プログラム統括責任者
飯室 勇二



恵まれた研修環境

01. 総合研修プログラム

- ◆選択診療科について
 - 2年間の研修期間のうち48週間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能です。
- ◆必修科目について
 - 内科研修では「循環器・糖尿病内分泌」「呼吸器」「消化器」「腎臓・リウマチ膠原病」「総合診療」の中から3つを選択していただきます。
 - 救急科研修では高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
 - 精神科は専門病院である山梨県立北病院で研修を行います。
 - 地域医療研修では10の地域医療拠点病院から研修場所を選択可能です。
 - 2年次に行う一般外来研修では、院内・外の指導医のもと継続的な診察が経験できます。

総合研修 プログラム	1週～ 4週		5週～ 8週		9週～ 12週		13週～ 16週		17週～ 20週		21週～ 24週		25週～ 28週		29週～ 32週		33週～ 36週		37週～ 40週		41週～ 44週		45週～ 48週		49週～ 52週			
	1年次		選択科		内科1				内科2				内科3				救急科				麻酔科		外科		小児科		産婦人科	
	2年次		精神科		選択科		地域医療		選択科																			

02. 産婦人科・小児科重点プログラム

- 上記総合研修プログラムをベースとし、更に充実した小児科・小児外科・新生児内科研修及び、産科・婦人科研修のさらなるニーズに合った研修スケジュールが選択できます。
- 当プログラムのみ山梨大学小児科での研修が可能です。

産婦人科・小児科 重点プログラム														1週～ 4週	5週～ 8週	9週～ 12週	13週～ 16週	17週～ 20週	21週～ 24週	25週～ 28週	29週～ 32週	33週～ 36週	37週～ 40週	41週～ 44週	45週～ 48週	49週～ 52週
1 年次	選択科		内科1		内科2		内科 3		救急科			麻酔科		外科		小児科		産婦人科								
2 年次	精神科	選択科	地域医療		小児科領域および産婦人科領域					選択科																

03. 連携体制

- ◆協力型病院
 - 山梨県立北病院、山梨大学医学部附属病院、山梨赤十字病院、富士吉田市立病院、都留市立病院、大月市立中央病院、上野原市立病院、飯富病院
- ◆協力施設
 - 山梨市立牧丘病院、北杜市立塩川病院、北杜市立甲陽病院、富士川病院、甲府市保健所、石和共立病院、山梨県厚生連健康管理センター、道志村診療所、市川三郷診療所

Message

初期研修医

先輩からメッセージ

盤石な基礎と経験は必ず力になる

県内唯一の3次救急病院であり、全国51施設のみの都道府県がん診療連携拠点病院である本院は、他では経験できない幅広い症例に携われる点が魅力です。診療科が充実しており、どの分野に進むにしても盤石な基礎を身につけられる環境が研修先として選んだ決め手となりました。

実際の研修生活では、救急から専門的な手技まで日々多くの実践経験を積むことができます。忙しい中でも上級医や先輩方が丁寧に指導していただき、わからないことはその場ですぐに質問できる雰囲気があります。充実した教育体制のもと、臨床技術だけでなく症例発表や研究発表の機会もあり、医師としての総合的な力を養うことができます。

上級医も先輩も気軽に相談できるアットホームな雰囲気は、実際に来てみたいとわかりません。どの診療科を目指すにしても、ここでの経験は必ず力になります。幅広い選択肢を持ちながら成長したい方に、自信を持っておすすめできる病院です。



1 年次研修医
山梨大学 卒業

小尾 礼王



1 年次研修医
高知大学 卒業

新藤 花緒莉

山梨の地域医療に貢献するために

将来は生まれ育った山梨の医療に貢献したいという思いがあり、そのスタートラインとして県内医療の中核を担い、最も幅広い症例を経験できる当院を研修先に選びました。common disease から高度専門疾患まで、多岐にわたる疾患を経験でき、医師としての土台を確実に築ける環境が大きな決め手となりました。

実際の研修では、上級医や先輩方が若手を支える指導体制のもと、救急の初動や手技など、主体的に動くチャンスを多く頂いています。現場は常に活気があり、チーム全体でバックアップしてくれる安心感があるからこそ、一歩踏み込んだ経験を積むことができます。

また、当院は同期の人数が多く、非常に繋がりが強いことも魅力の一つです。仲間たちと切磋琢磨し、悩みも共有しながら支え合う毎日は、何よりの刺激になっています。

当院は、地域医療を支える実力を養いながら、最高の仲間と共に成長できる場所です。ぜひ一度見学に来て、この活気ある雰囲気を肌で感じてみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

理想的な環境で唯一無二の医療者を目指す

みなさんは研修先を選ぶ上でどんなことを考えていますか？症例数？専門性？それとも楽しく働ける雰囲気でしょうか？私は「唯一無二」な環境を求めて当院での初期研修を選びました。

当院には山梨県「唯一」の高度救命救急センターがあり、県内どこからでもあらゆる症例が集まってきます。また県内では「唯一」がんゲノム医療拠点病院に指定されるなど、専門性の高い、一歩踏み込んだ症例学習も可能です。そしてなにより1.2年目合わせて約50人の仲間がいるという環境も「唯一無二」だと思います。

救急外来でたくさんの症例を経験しながら、病棟では上級医と相談して専門性高く見識を深めていく。そしてもし壁に当たったときには、同期や先輩に相談して一緒に乗り越えていける。初期研修先としてとても理想的な環境が揃っていると思います。

ぜひ当院と一緒に「唯一無二」の医療者を目指していきましょう！みなさんに会えるのを楽しみに待っています。



2 年次研修医
神戸大学 卒業

田中 凜



2 年次研修医
琉球大学 卒業

前原 愛

病院全体で支えられている研修環境

私が当院を見学した際に印象的だったのは、研修医が主体的に診療にかかわっていること、そして病院全体の雰囲気の良さでした。実際に研修が始まってからも、その印象は変わっていません。

当院では、救急から各専門科まで幅広い症例を経験することができ、日々多くの学びがあります。特に救急外来では、自分で考えながら診療にかかわる機会が多く、初期研修医のうちから貴重な経験を積むことができます。困ったときには上級医の先生方がしっかりサポートして下さるため、安心して研修に取り組んでいます。

また、研修医同士だけでなくコメディカルの方々とも話やすく、病院全体で支えてもらっていると感じます。忙しい毎日ではありますが、その分多くの経験を積むことができ、自分自身の成長を実感しています。仕事だけでなく普段の何気ない時間も楽しく、充実した研修生活を送っています。少しでも興味があれば、ぜひ一度見学へ来てみてください。

Message

医師としての基礎を身につけるために——。



多様な症例と実践的環境



地域医療の最前線で専攻医として
必要な「全て」をここで学ぶ



十分な知識・診療の技能を習得した医師を目指す——。

専門研修プログラムの概要

中央病院では内科、外科、救急科、総合診療科、整形外科、小児科産婦人科、麻酔科の専門研修プログラム、北病院では精神科の専門研修プログラムの基幹病院としています。専門医を習得する3年間の目安ですが、各専攻医のニーズに応じたプログラムが作成可能です。

基本方針

- 1 多くの臨床経験を積み重ねる
- 2 専門医資格取得を指導する
- 3 臨床研究を英文誌に投稿することを目標とする
- 4 海外留学の物心両面の援助を行う



内科専門研修プログラム



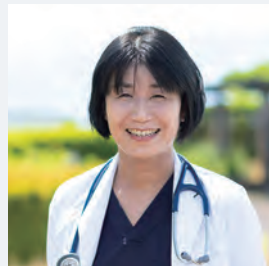
育成プログラムの概要

- ・初年度からサブスペシャリティを目指すこともできる
- ・希望により内科診療科を選べる自由度の高い研修
- ・二次・三次救急の経験により総合内科的力を身につけることができる
- ・市中病院ならではの多数の症例と手技を経験できる

地域医療の最後の砦として、地域密着の医療を提供しています。山梨県のセンター機能を担い、密度の高い専門医療とともに、二次・三次救急も経験できる総合病院です。日常臨床と学会活動の双方を重視し、各領域の専門医にリアルタイムで相談できる環境があります。当院は初期研修医も多く、診療チームとしての層が厚いことが特徴です。専攻医に業務が過度に集中しない体制を整えつつ、診療の質の担保や後進指導など、チームの中核としての役割が求められます。症例経験の量と質を確保しながら、主体的に専門性を高められる環境です。

経験が、実力に変わる場所

2025年度は募集7名に対し7名、2026年度も同様に募集7名に対し7名の専攻医が当院内科プログラムに参加しています。当院は二次・三次救急を担う施設であり、幅広い救急疾患に対応できる手技および臨床判断力を実践的に習得することができます。また、院内診療科間の連携が良好であり、初期段階から専門領域の研修を進めながら、他領域の疾患についてもバランスよく経験することが可能です。2026年度には初期研修医52名を受け入れており、活気ある教育環境が整っています。さらに、山梨大学、東京科学大学、千葉大学、杏林大学をはじめとする多数の基幹施設と連携し、現在21名の内科専攻医が活躍しています。一人ひとりの専攻医の習熟度や志向に応じた指導体制を重視しています。将来の医療を担う皆さんが、臨床力と研究力に自信と誇りを持てるような研修環境を提供します。



内科専門研修プログラム
統括責任者
柿崎 有美子

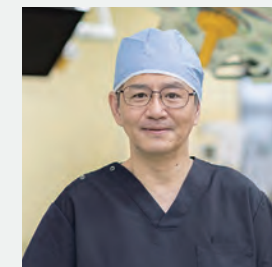


外科専門研修プログラム

山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担う多くの症例数を経験に、学術的な研修も十分

当院は県の基幹病院として急性期・高度医療を担い、ロボット支援手術やゲノム医療などの先進的医療を実践しています。同時に、これらを担う外科医の育成にも力を注いでいます。

研修医が将来への目標を持ち、主体的に診療に関わりながら着実に臨床力を高めていけるよう、指導医一同が一体となって教育に取り組んでいます。



外科専門研修プログラム
統括責任者
古屋 一茂

外科医を必要とする患者さんは非常に多く、また習得すべき手術方法も進化し続けています。外科は、天職として選択するには、大変魅力ある診療科です。我々と一緒に魅力ある外科の道に踏み出しましょう。

消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、および乳腺外科のいずれかをサブスペシャリティとし、それに連動した研修スケジュールを設定することができます。一方、サブスペシャリティを特定しない外科全般の研修も可能です。急性期外科治療ACS（Acute Care Surgery）に興味のある医師も多く研修しており、すべての領域において十分な症例数を臓器専門医の指導のもとに経験することができ、学術的な研修も十分にできる体制をめざしています。

当院の年間外科手術数は約2,200例、3年間で12名の専攻医を受け入れることができます。2027年度は4名を定員として募集いたします。山梨県内外の13病院が連携施設となっており、6か月を連携病院で、2年6か月は当院で研修する予定です。専攻医のサブスペシャリティ研修の希望に合わせ、研修スケジュールを組むことができます。



※ 当院では、「da Vinci Xi」などのロボット支援手術や、ゲノム医療などの高度医療に興味のある若手医師を積極的に募集しています。

育成プログラムの概要

- ・“魅力ある外科”へ当院で一步を踏み出そう



救命救急専門研修プログラム

育成プログラムの概要

- ・連携病院との豊富な人事交流でお互い刺激しながら救急医療の研鑽を積むことができます！



サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得し
術者・担当医として退院まで自己完結を目指す



救命救急専門研修プログラム
統括責任者
岩瀬 史明

初療室には、ハイブリッドERを含めて血管造影室が3室あり、手術、IVR、ECPRなど重症患者の治療を切れ目なく実施できる体制を整えています。

入院患者の管理は、担当医制ではありますが、休日は完全なOFFが取れ、プライベートの時間も確保できます。女性医師も複数名在籍しており、体力面の不安や出産・育児への負担にも配慮します。我々と一緒に「こんな重症患者も救うことができるのだ」という体験をしてみませんか。



当院は県内唯一の救命救急センターとして山梨県全域より年間2,000例以上の重症患者を受け入れ、コロナ禍後も増加しています。ドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療は、24時間365日県内全域をカバーし、重傷外傷、敗血症を伴うような急性腹症の緊急手術や脳血管から全身のIVR、集中治療管理までを一貫して実施しています。

サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得した指導医のもとで、術者・担当医として退院まで自己完結的な診療を経験できます。特殊な病態に対しては他科との連携も良好で専門性の高い疾患にも対応しています。また県内外の多数の施設と連携し、ER、集中治療、地域医療を実践し救急医として幅広い臨床経験を積むことができます。救急科専門医取得後はダブルボードを目指すことも支援しています。

小児科専門研修プログラム

多様な小児疾患診療と総合周産期センターでの新生児医療を担う地域小児医療の経験やサブスペシャリティの基礎研修も可能

当院は山梨県の中核病院であり、小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで多様な症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターの一翼を担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学小児科や地域医療施設での研修を取り入れた3年間のプログラムにより、小児科専門医として必要な考え方や技術の獲得が可能です。多様な技能や経験を持った先輩が待っています。是非、私たちのチームに入ってください。



小児科専門研修プログラム
統括責任者
内藤 敦

年	1年次				2年次				3年次			
月	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
専攻医A	小児科	山梨大学			地域連携施設				小児科/新生児内科			
専攻医B	小児科	山梨大学	小児科/新生児内科						地域連携施設			



最初の半年間は当院で基本的な小児診療を研修し、続く半年間は山梨大学小児科で慢性疾患や希少疾患の診療を中心に研修します。2年目以降は、連携病院では小児の地域医療の研修を、当院では希望を考慮しながら小児科・新生児内科での柔軟な研修を1年間ずつ行います。各施設の特徴を活かした小児医療全般の研修を通して、子どもの身体だけでなく心や家族などの社会的背景まで含めて全人的に診療する小児科医としての基本技能を3年間で習得します。サブスペシャリティを持つ指導医や先輩が多く在籍する環境であり、自分の未来像を描くことができます。

育成プログラムの概要

- ・信頼され進歩する小児科医としての基礎を作る



産婦人科専門研修プログラム



育成プログラムの概要

- ・高度な臨床研修環境
- ・充実したサブスペシャリティ研修
- ・最先端研究へのアクセス
- ・柔軟なローテーションとキャリア形成

専攻医の希望を積極的に取り入れる

2024年度からの新プログラム

各領域のサブスペシャリティ取得が可能



産婦人科専門研修プログラム
統括責任者
坂本 育子

当院は、日本産科婦人科学会をはじめ、周産期・超音波・内視鏡・腫瘍領域でも認定を受けた、幅広い研修が可能な施設です。加えて、国内最多クラスのHugo/da Vinci ロボット手術を経験し、研究にも踏み込めます。募集は3名。少人数だからこそ、皆さんのキャリア目標に合わせた「診療・研究・学会発表」を柔軟に設計します。プログラムは3年目、まだ伸びしろだらけです。“共創パートナー”として遠慮なくアイデアを提案してください。産婦人科は、命の誕生と命の尊厳、両方に向き合う科です。挑戦には勇気が要りますが、私たち指導医が全力で支えます。ここであなたの可能性を大きく広げてください。一緒に未来をつくっていきましょう。

年	1年次	2年次	3年次
主体施設	当院	大学病院＋地域	個別相談
研究テーマ	周産期診療・腹腔鏡/ロボ基礎	生殖医療、女性医療、地域医療	研究・留学・専門修練の深化
備考	当直・救急含む症例主治医	県外連携施設も可	海外短期留学サポート可

- ・高度な臨床研修環境：山梨県唯一の総合周産期母子医療センターとして年間約90件の母体搬送、600件超の分娩管理（ハイリスク中心）を担当。年間500例以上の婦人科手術、県内最多の婦人科悪性腫瘍手術に加え、国内有数の症例数を誇るロボット支援手術（da Vinci, Hugo）を経験できます。
- ・充実したサブスペシャリティ研修：日本産科婦人科学会基幹研修施設に加え、周産期・新生児・超音波・内視鏡・婦人科腫瘍の各学会認定研修施設であり、専門医取得を全面的にバックアップします。
- ・最先端研究へのアクセス：プログラム責任者の専門でもある「ロボット手術×腫瘍ゲノム」研究をはじめ、臨床に根差した研究活動（学会発表、論文執筆等）を積極的に支援します。
- ・柔軟なローテーションとキャリア形成：基本ローテーション（1年目当院、2年目大学／地域、3年目応相談）を軸に、県外連携施設での研修も可能です。2024年度開始の新しいプログラムとして、専攻医一人ひとりの希望やキャリアプランを重視し、共にプログラムを進化させていきます。



総合診療専門研修プログラム

幅広い領域を診る専門家として問診・診療を徹底し
オールラウンダーとして医療に貢献

「よくある病気、困っていることなら何でも診ることができる」というのは、逆説的ですが、専門家でないとできません。総合診療プログラムでは、比較的大きな病院で活躍できる総合内科医を育てます。慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わずオールラウンダーとして活躍できる総合診療内科医と一緒に目指しませんか？



総合診療専門研修プログラム
統括責任者
三河 貴裕



まず山梨県立中央病院総合診療科・感染症科で病棟診療、外来診療をみっちり研修します。後期研修1年目ではどんな患者さんでも問診と診察を徹底し、診断を付ける方略を身につけます。2年目では身につけたスキルを地域医療機関で実践し自分の得手不得手を確認します。3年目は仕上げです。中堅医師として若手医師の教育、マネジメントやリーダーシップを学び実践します。プログラム終了後は、総合診療専門医受験資格を得て、病棟総合医となるか、サブスペシャリティとして内科プログラムに参加することも可能。また、当科は県内唯一の日本感染症学会認定施設ですので、感染症科医を目指すこともできます。



育成プログラムの概要

- ・慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、ひとつの臓器にとどまらず、全人的医療を目指すオールラウンダーとして活躍を

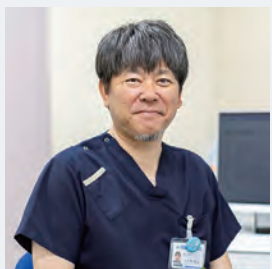
Program 山梨県立中央病院
 整形外科地域専門研修プログラム

育成プログラムの概要

- ・外傷のスペシャリストを目指して

高度救命救急センターとの連携により
 豊富な外傷症例を経験
 上級医の指導のもと多くの症例を執刀できる

当院の整形外科は医師 11 名(日本整形外科学会専門医 6 名)の体制で、整形外科のほぼ全分野に対応しています。2020 年 4 月より脊椎専門医と運動器腫瘍専門医が加わりさらに充実した研修が可能となりました。専門医を目指す若手整形外科医も多く勤務しており、同年代で切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約 1,000 件、三次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。



整形外科地域専門研修プログラム
 統括責任者
 佐久間 陸友



整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。当院では特に、三次救急を扱う高度救命救急センターと連携して、脊椎外傷や重度四肢外傷の症例を数多く経験することができます。その中で患者さんの回復(未来)を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。

山梨県立中央病院 Program
 麻酔科専門研修プログラム

幅広い症例の経験を重ねると共に、
 チーム医療の素晴らしさも経験する事ができます

2025 年度より基幹病院として麻酔科専門研修プログラムを開始しました。当院は山梨県最後の砦として、急性期、高度医療を担っており、全職員が高いモチベーションでチーム医療を実践しています。各診療科間の垣根は低く、親密なコミュニケーションのもと多彩な症例の麻酔管理を上級医の指導を受けながら経験することができます。市中病院の強みを生かしたプログラムをぜひ体験してみてください。



麻酔科専門研修プログラム
 統括責任者
 久米 正記

当院は山梨県唯一の三次救急病院であると同時に、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターも併設しております。多発外傷や緊急循環器疾患、体外循環患者、脳神経外科などの広い分野での緊急手術の麻酔管理が可能です。また NICU を完備した周産期センターを併設しているため、緊急帝王切開を含めたハイリスク妊娠患者の麻酔管理から、超低体重の新生児の麻酔までも経験することも可能です。がん診療拠点病院でもあるため、高齢者の管理や多彩ながん疾患症例も経験することができます。

山梨大学附属病院をはじめとした各中核病院とも連携しており、小児心臓外科やペインクリニック、緩和ケアの分野での症例の補完も容易です。JBPOP 取得者や心臓血管麻酔専門医、小児専門病院で経験を積んだ小児麻酔認定医も複数所属しており、各分野で専門性の高い麻酔指導を受けることができます。

育成プログラムの概要

- ・麻酔科管理症例は 4,000 例以上、幅広い症例の経験が可能

Message

専攻医

先輩からメッセージ

業務分担によるワークライフバランスの両立

私は救急科での研修を通じて、外傷診療に加え、急性腹症をはじめとする外科疾患の診療をより深く学びたいと考え、救急科と外科のダブルボード取得を目指して当院の外科プログラムを選びました。当院は豊富な症例数があり、幅広い経験を積めることが大きな魅力です。

研修では上部、下部消化管、肝胆膵の各チームに分かれて診療を行い、希望に応じて他科での研修も可能です。働き方改革も進んでおり、オンコールや業務分担が整備されているため、休日やプライベートの時間もしっかり確保できます。

鼠径ヘルニアや虫垂炎といった基本的な症例から、腹腔鏡手術、ロボット支援手術、緊急手術まで幅広く経験でき、自ら執刀する機会も多くあります。上級医の指導も非常に手厚く、手術だけでなく学会発表や論文執筆にも挑戦できます。外科に興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。一緒に働くことを楽しみにしています。



消化器外科
外科専門研修プログラム

峯平 紗耶香



救命救急科
救命救急科専門研修プログラム

土屋 翔平

憧れを実現する多様な症例と指導

私は少年時代からの憧れであった救急医を目指し当院の救急科専門研修プログラムを選択しました。

当センターは山梨県唯一の高度救命救急センターであり、重症外傷をはじめとして毎日たくさんの重症患者さんが来院するため、専攻医が多くの症例、手技を経験できます。特に、ドクターヘリやドクターカーを用いた病院前診療に力を入れており、専攻医のうちから数多くの経験を積むことができます。

また、当センターは自己完結型救急を目指しており、Acute care surgery、IVR、脳外科、整形外科、熱傷、中毒、集中治療といった各分野にサブスペシャリティを持つ指導医が多数在籍していることから、毎日、非常に手厚い指導が受けられることも当センターの大きな強みであると感じています。

山梨で救命救急を経験したい方はぜひ一度当院まで見学にお越しください！

当院の素晴らしさをぜひ感じていただければと思います。

恵まれた環境下で診療から得る貴重な学び

私は、当院の内科専門研修プログラムを選択し、現在は循環器内科専攻医として勤務しております。

当院循環器内科では、急性期から安定後の外来でのフォローまで自らの手で携わることができ、虚血性心疾患や、不整脈、構造的な心疾患、心不全など幅広い疾患群を学べます。上級医の先生方から丁寧な指導をしていただきながら、実践的な知識と手技を学べる点も大きな魅力です。多忙な中でも相談しやすい雰囲気があり、非常にめぐまれた環境が整っていると思います。

また、当院は山梨県内唯一の三次救急医療機関であり、多彩かつ重症度の高い症例を日常的に経験できます。特に急性期診療では、緊急カテーテル治療、その後の全身管理を、多くの診療科が垣根を超えて携わるチーム医療を実現しており、その一員として診療に携わらせていただけることは若手医師の貴重な学びの機会となっています。

みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしております。ぜひ一度見学にいらしてください。



循環器内科
内科専門研修プログラム

松土 大河



産婦人科
産婦人科専門研修プログラム

鈴木 秀明

実践を通して鍛えられる臨床力

私が当院の産婦人科専門研修プログラムを選んだのは、初期研修中に会った産科・婦人科の先生方に強く憧れたからです。診療や手術、患者さんへの向き合い方を間近で見て、「この先生方のもとで学びたい」と自然に思うようになりました。現在は主に産科で研修しています。当院は県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、母体搬送やハイリスク妊娠も多く、日々緊張感のある症例を経験しています。専攻医として任せていただく場面も多く、妊婦健診や病棟対応に加え、帝王切開の執刀機会にも恵まれています。

実際の診療や手術を通して、産婦人科医としての臨床力が少しずつ鍛えられていると感じます。迷うこともありますが、すぐ相談できる上級医の先生方に支えられ、毎日新しい学びがあります。忙しさはありますが、とても楽しく充実した研修生活です。産婦人科に少しでも興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。

Message

十分な知識・診療の技能を習得した医師を目指す ——。

育成プログラムの概要

初年度はオープンナーベン制によるきめ細かい指導からスタート。
本格的臨床研究を含めたリサーチマインドの醸成

精神科医療の基幹的病院

地域医療の実績、リサーチマインド

北病院の研修では、bio-psycho-social な視点から精神科医としての知識や経験、対応力を身につけていきます。
指導医のもとで多職種スタッフと協働して治療に難渋する症例を受け持ち、精神科の高度治療（mECT・クロザピン・持続性注射剤）を使いこなせるようにします。

心理療法の基礎を学び、興味がある分野をさらに深めていくことができます。

指定医レポート、専門医取得に必要な症例が体験でき、症例や学会発表を通してリサーチマインドを高める指導体制も充実しています。
精神科に興味のある方、お待ちしております！



精神科専門研修プログラム
副統括責任者
嘉納 明子



専攻医

先輩からメッセージ



北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。

当院を受診する患者さんは、急性期から慢性期、思春期から認知症例まで幅が広く、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。

山梨県の精神科医療の基幹的病院でありながら、地域医療の実践の場ともなっているのが当院の特徴です。

研修では、オープンナーベン制によるきめ細かい指導が特徴です。

県立北病院

〒407-0046 韮崎市旭町上條南割3314-13

0551-22-1621(代)

主体的な経験と恵まれた研修環境

私は県外で初期研修を終え、他科の後期研修を経験してから精神科に入局しました。3年間それぞれ異なる病院で研修を行うプログラムで、3年目に山梨県立北病院へやって参りました。

初めて来たときにまず驚いたのが、院内の日常のよさです。患者さんが療養するうえで、この明るく美しい建物は非常に魅力的だと感じました。全体的に広々としていて、デイクアも十分に広い空間で行うことができます。患者さんだけでなく、働いていてとても心地がよいと感じます。医局内の設備もかなり整っていて、労働環境への配慮が行き届いていることに驚きました。

また、症例がかなり幅広く、一人前になるために必要な症例のほとんどを当院で経験することができます。mECT やクロザピンなど、限られた施設でしか行うことのできない治療も当院では経験することができます。主治医制のため、そういった治療を主治医として主体的に経験することができます。

もちろん、いきなり主治医として独り立ちすることはなく、上級医と1対1の指導体制が整えられております。上級医の先生方は経験豊富で、ご高名な先生も多く、研修環境として大変恵まれていると感じます。

少しでも興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。一緒に働けることを心待ちにしております。



精神科
精神科専門研修プログラム

慕 忻桐



POINT 01 快適な仕事環境・福利厚生施設（中央病院）

中央病院から徒歩 3 分の寮や、借り上げ社宅の貸出制度があります！（研修医にかぎる）



- レジデントクォーター
- 住所 甲府市富士見 1 丁目 4 番 11 号
- 建設工事費 2 億 500 万円
(本体工事費 1 億 9,300 万円 設計・管理費 1,200 万円)
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 3 階建て
- 内部仕上 32.58㎡ / 室 × 24 室
- 設備 床 / フローリング 壁・天井 / 石膏ボード + ビニルクロス
システムキッチン (IH 式)、水洗トイレ、ユニットバス、洗面化粧
26 型液晶テレビ、ルームエアコン、木製ベッド
- 入居料等 入居料 12,940 円 / 月、共益費 1,500 円 / 月、駐車料 2,160 円
計 16,600 円

※寮への入居人数が満員の場合には、賃貸物件を借り上げて貸し出しも可能です。

■ 医局



■ 図書室



■ 託児所



■ 病児・病後児保育室



POINT 02 幅広い診療体制と豊富な実績（令和 8 年 4 月現在）

■ 中央病院 DATA

〔入院患者数〕	485 人（令和 7 年度 1 日平均）	〔診療科〕	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、神経内科、小児科、新生児内科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア科、リハビリテーション科、総合診療・感染症科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科
〔外来患者数〕	1258 人（令和 7 年度 1 日平均）		
〔平均在院日数〕	11.3 日（令和 7 年度 1 日平均）		
〔認定・指定〕	高度救命救急センター、基幹災害拠点病院、第 1 種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、がんゲノム医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院 ほか		

■ 北病院 DATA

〔入院患者数〕	137 人（令和 7 年度 1 日平均）	〔診療科〕	精神科
〔外来患者数〕	246 人（令和 7 年度 1 日平均）		
〔平均在院日数〕	68.0 日（令和 7 年度 1 日平均）		
〔認定・指定〕	精神科救急医療施設、依存症治療拠点病院、子どもの心の診療拠点病院、災害拠点精神科病院 ほか		

Information

初期研修医

■ 募集定員

総合研修プログラム 21 名
産婦人科・小児科重点プログラム 4 名

■ 選考方法

・書類審査
・小論文
・面接

■ 応募手続

詳しくはホームページをご確認ください。
(採用試験は 2 回に分けて行います)

■ 採用の決定

選考結果をマッチング協議会に登録し、その結果により採用を内定します。

■ 応募期間

令和 8 年 6 月 1 日 (月) ~ 令和 8 年 8 月 12 日 (水)

■ 採用までのスケジュール

7 月 15 日 (水) 第 1 回選考試験応募締切

7 月 26 日 (日) 第 1 回選考試験

8 月 12 日 (水) 第 2 回選考試験応募締切

8 月 23 日 (日) 第 2 回選考試験

9 月 25 日 (金) マッチング中間公表

10 月 22 日 (木) マッチング組み合わせ結果発表

専攻医

■ 募集プログラム

・内科
・外科
・救急科
・総合診療
・小児科
・産婦人科
・整形外科
・麻酔科
・精神科

■ 応募手続

日本専門医機構により定められた方法に従います。

■ 出願書類

・願書
・履歴書
・健康確認書
・医師免許証の写し
・臨床研修修了証の写しまたは修了見込証明書
※各ホームページからダウンロード可能。

■ 応募期間

日本専門医機構の定めた期間による

■ 選考方法

・書類審査・面接

■ 採用の決定

専攻医登録システムにて採否の登録をいたします。

処遇

■ 身分

初期研修医（会計年度任用職員）

■ 給与

1 年次 351,400 円 / 月
2 年次 360,300 円 / 月

専攻医（会計年度任用職員）

1 年次 494,100 円 / 月
2 年次 537,800 円 / 月
3 年次 591,500 円 / 月
4 年次 634,000 円 / 月

※このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。※社会保険有り

+ 山梨県立中央病院のご案内と病院見学

ホームページより「病院見学申込書」をダウンロード。必要事項記入の上、下記連絡先までお申込みください。※申込みの受付は、土日・年末年始・GW は除きます。
※日程調整の都合上、見学希望日の 7 日前までにお申込みください。

県立中央病院

〒400-8506 甲府市富士見 1 丁目 1 番 1 号

055-253-7111 (代)

JR ご利用の場合

※甲府駅からタクシーで 5~10 分

新宿 中央線 特急あずさ・かいじ 甲府 (約 1.5 時間)

松本 中央線 特急あずさ 甲府 (約 1.0 時間)

静岡 身延線 特急ワイドビューふじかわ 甲府 (約 1.5 時間)

